

平成30年第4回定例市議会

\*\*\*\*\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*\*\*\*\*

行 政 報 告

北海道恵庭市



第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

災害対応について

はじめに、災害対応について申し上げます。

9月に連続して発生した台風第21号と北海道胆振東部地震の災害対応について、明らかになった課題や問題点を今後の改善につなげていくために、現在、検証作業を進めているところであります。

検証にあたっては災害対応に当たった職員一人ひとりにアンケートを実施し、災害対応の実態を明らかにするとともに反省点や課題を抽出し、その改善策を今後の恵庭市地域防災計画や災害対応マニュアルの見直しにつなげるものであります。このほかに今月12日には恵庭市町内会連合会に対する災害対応の報告と意見交換会を実施するなど、市民の皆様からもご意見をいただきながら検証を進めて参ります。

また、被災地への支援といたしまして、「災害時における北海道及び市町村相互の応援協定」に基づき、9月27日から10月1日の期間で安平町及びむかわ町へ7名の職員を、10月17日から10月26日の期間で安平町へ4名の職員を、10月15日から12月25日の期間で安平町へ2名の職員を派遣しているところであります。

地域防災力向上の  
取組について

次に、地域防災力向上の取組について申し上げます。

子どもたちの「生きる力」を育むとともに、学校・地域・行政が連携し、地域防災力の向上を図ることを目的に、北海道や関係機関の協力を頂き、本年度より一日防災学校を実施いたしました。9月26日には恵み野小学校で、10月20日には柏陽中学校で実施し、それぞれ全校児童生徒が避難所訓練や防災食の炊き出しなど、様々なメニューの防災学習を行いました。

また、10月13日には北海道が関係機関と連携し実施する北海道

防災総合訓練に参加し、この日に合わせて防災学習会を開催していただいた恵庭小学校への支援物資の輸送訓練や、ダンボールベッドの設営などの避難所訓練を行いました。

今後も、大規模災害に備え、災害に強い地域防災力の充実強化に努めて参ります。

特別職報酬等審議  
会の開催について

次に、特別職報酬等審議会の開催について申し上げます。

本年8月に、期末手当の0.05か月引き上げなどの人事院勧告があったことから、これを受けて10月24日に恵庭市特別職報酬等審議会を開催し、市議会議員、市長及び副市長並びに教育長の期末手当の額に加えて、議員報酬における常任委員長職、議会運営委員会委員長職の新設及び各委員長職の報酬の額について諮問いたしました。

これに対しては、同月31日に、期末手当の額について、人事院勧告に準じた内容で改定を行うこととして答申を受けております。

なお、市議会議員、市長及び副市長並びに教育長の報酬の額、議員報酬における各委員長職の新設及び報酬の額については、継続審議となったことから、引き続き審議会の意見を聴取し、対応して参ります。

まちづくり拠点  
整備事業について

次に、まちづくり拠点整備事業について申し上げます。

まず初めに南島松地区住宅地「スマートタウン・ふれる恵み野」についてですが、本年春に造成工事に着手し、10月23日に竣工式が行われたところであります。10月末現在、21件が契約済みとなり、販売が好調と伺っております。

次に、花の拠点整備に係る各施設の事業者選定についてですが、10月23日に開催した「花の拠点整備事業に係る事業者審査委員会」での審査結果に基づき、「道と川の駅」は「デリシャス株式会社」、  
「宿泊施設」は「積水ハウス株式会社」を、それぞれ最優秀提案者とし

て決定したところであります。

次に、戸磯地区新工業団地整備についてですが、10月末に市街化区域に編入され、準備組合により事業認可や組合設立に向けた手続きが進められており、本市としては、来年度の組合土地区画整理事業の着手に向け、企業誘致に取り組んでいるところであります。

次に、市営住宅柏陽・恵央団地建替事業についてですが、当該市営住宅に住まわれている方々への説明会の開催と、意向把握を目的としたアンケート調査を実施したほか、民間活力導入のためのサウンディング調査を実施しました。また、余剰地の活用や複合施設への導入機能について、地域の意見を聞く場として有識者や地域の方々に構成される地区懇談会を開催し、基本計画素案の作成を進めているところであります。

高齢者の交通安全  
対策について

次に、高齢者の交通安全対策について申し上げます。

交通安全対策につきましては、4期40日の交通安全運動をはじめ、町内会、地域活動団体、事業者等と市が連携して啓発に取り組んでおり、その結果、近年の交通事故発生件数は減少してきております。

その一方で、高齢者が当事者となる交通事故の割合が年々増加してきており、高齢者を対象とした交通安全対策が重要となっております。

このことから、高齢者一人ひとりが「車社会」の一員として、交通ルール・マナーを守り、安全で快適な生活を送れるよう、交通安全意識の高揚を図るとともに、自身の身体能力や運転技術について認識していただくことを目的として、今年度、ドライブシュミレーターを活用した高齢者交通安全教室を開催したところであります。

市民の広場の開催  
について

次に、市民の広場の開催について申し上げます。

平成26年度より、地域からの生活環境改善に関する要望は「生活

環境改善要望」として対応し、市民の広場は、テーマに沿って地域とのまちづくりに向けた意見交換・懇談の機会として開催しております。

本年10月に、恵庭地区で2回、恵み野地区で1回、島松、島松農村地区で1回の計4回開催し、102名の参加を頂き、「安全で安心なまちづくりの推進について」をテーマにワークショップ形式により、特に子ども達の地域の安全について意見交換を行いました。

なお、市民の広場で頂いた意見は、今後、開催予定の恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会へ報告するとともに、地域の安全確保対策に生かして参ります。

運動・スポーツの  
推進について

次に、運動・スポーツの推進について申し上げます。

総合体育館アリーナ等につきましては、照明設備を10月にLED化し、室内の照度不足の解消を図るとともに、消費電力の軽減にともなう温室効果ガスの削減を行い、市民の皆様がより利用しやすい施設の環境づくりに努めてきたところであります。

また、本年5月より着手いたしました冬季スポーツの拠点施設である市民スキー場につきましては、リフト設備の新設及びゲレンデの一部造成工事も順調に進捗しており、12月のオープンに向け、スキー関係団体と連携を図り、集客力のある施設となるよう市民の皆様へ周知を図って参ります。

今後も、スポーツ施設の充実を図り、誰もが気軽に運動やスポーツを親しめる環境づくりに努めて参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

まず水稻についてですが、北海道農政事務所によりますと、作況指数は全道で90、恵庭市を含む石狩管内は93となり、収量・品質が平年を下回る状況となりました。

他の農作物につきましても、同様に収量等が例年を下回る状況となっております。

次に、市営牧場についてですが、5月17日の入牧で、市内外の酪農家14戸より178頭の乳用牛を受け入れ、台風や地震があったものの大きな事故もなく、10月25日と26日の2日間で全頭退牧しております。

なお、本定例会において、台風第21号及び北海道胆振東部地震による農業被害への復旧経費についても全体的な災害関連経費に併せて、補正予算を提案いたしますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

雇用対策について

次に、雇用対策について申し上げます。

雇用情勢については、恵庭・千歳管内における8月末の有効求人倍率は1.07倍で、連続して1倍を超える期間が1年となり、人手不足の傾向が継続しております。

本市としましては、9月21日に「ジョブガイド恵庭」において女性向け就職相談会を、10月6日には地元企業36社、求職者50名の参加のもと合同企業就職説明会をそれぞれ開催しました。

今後も、大学・専門学生と中学生による市内企業4社をバスで巡る「恵庭の企業探検隊」を実施するなど、地元就職の促進に取り組んで参ります。

農商工等連携について

次に、農商工等連携事業について申し上げます。

10月27日、28日で開催された「ふじえだ産業祭2018」に市内の農商工等連携事業者4社が参加し、恵庭市・藤枝市の事業者で開発した6つの連携商品を販売し、PRしました。

また、11月4日には震災により延期していた「2018えにわん

産業祭」を総合体育館において、57社72ブースの出展のもと開催しました。自社製品のPRはもとより、料理研究家の星澤幸子さんによる恵庭産品を使ったレシピの発表や、屋外での飲食店等による「えにわんフードオータムフェス」に加え、「えにわ環境エネルギー展」を同時開催したところ、約5,800人の来場がありました。

今後も、市内の農商工等連携やものづくり企業の商品や技術のPRを通じて市の魅力を発信し、地域産業の活性化につなげて参ります。

秋のイベントについて

次に、秋のイベントについて申し上げます。

10月10日から13日までの4日間、「恵庭溪谷紅葉バスめぐり」を実施し、参加者は市内外から計417名となりました。

期間中は、花ガイドや市内大学生が案内するほか、「えにわマルシェ」が4店出店し、参加者へのアンケートの結果、9割以上の参加者から「満足した」との回答を頂いております。

10月27日に恵庭青年会議所などの主催により開催された、今年で4回目となる「えにわハッピーハロウィン2018」では、道と川の駅「花ロードえにわ」に、子ども達が約3,000個のカボチャを飾り付け、恵庭のご当地ソングの初披露や、カボチャ早食い大会などが行われ、大勢の家族連れで賑わいました。

消防フェアの開催について

次に、消防フェアの開催について申し上げます。

10月14日に開催されました「えにわ消防フェア」は、あいにくの天候ではありましたが、約500人の方にご来場いただき、大盛況のうちに終了いたしました。今回のイベントには、今年の8月に創設いたしました「恵庭市学生消防サポーター」の学生10名にも参加していただきました。

今後も、市民の安全安心なくらしの確保に努めて参ります。



以上、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。

